

第43回会長の時間 介護保険制度について 平成29年6月29日

今日で最後の会長の時間となりました。まず、6月24日に行われました宇部未来会議の定期総会に出席しました。藤重会長の挨拶に続いて来賓を代表して、株式会社にぎわい宇部の代表取締役の安部商工会議所会頭がご挨拶をされました。昨日の宇部日報に宇部未来会議の取り組みが書かれていますのでご一読下さい。

さて、最後の会長の時間に何を話そうかと思っておりましたが、ロータリーの友6月号を見ていますと、ロータリーの友編集長である二神典子さんの文章が目に入りました。そのタイトルは、「10年後のロータリーは？」でした。『10年後のロータリーは、誰もわかりません。ただ1つだけ確実に言えるのは、今、新会員の人と呼ばれている人がベテランとなりクラブの中心で活躍しているということです。クラブで会長や幹事になっているかも知れません。この度のロータリー定款の変更によりクラブの細則が変更されましたが、この変更が10年後に必ず影響を及ぼすでしょう。そして、今入会された方が、10年後に「入会して良かった」と思えるかどうかは、現在の会員が、ロータリーにどのように関わって行くかに掛かっています』と記載されておりました。当然ですが、10年後は、私も含め皆さんも10才年を重ねます。私たちのロータリークラブの将来を考えるのはもちろん大切なことですが、超高齢化社会に突入していく日本の介護・福祉の問題も避けて通れない喫緊の課題です。

現在、こうしてロータリークラブの例会に出席して、日常生活に支障なく生活している時にこそ知っておくべきことの1つとして、私が宇部市医師会で担当理事している「介護保険制度」があります。3年毎に改正され、来年また一部変更があると思いますが、本日は、この「介護保険制度」について話したいと思います。職業奉仕の一環としてお聞き下さい。宇部市が作成した介護保険に関する資料に基づいてお話しを勧めて参りたいと思います。もちろん、この制度を利用しない方が良いのですが、家族の方や親戚や知人の方への情報提供となれば幸甚です。

最後に次年度の木下敏彦会長、金子準二副会長にエールを送りたいと思います。私も1年間何とか、1度も休むことなく、また大過なく会長を務めることができました。これもひとえに皆様のお陰と感謝しております。どうも1年間ご協力を頂きましてありがとうございました。